



ライオンズSCジュニアユース/中学生 入団に関するご紹介資料2024

クラブ選びの重要ポイント

株式会社横須賀フットサルパーク
一般社団法人ライオンズSC
代表 白杵 尊士

内容詳細の確認としてご活用ください
転用禁止/ ALL Right Reserved.

LIONS * LAND
STADIUM

12才の君へメッセージ

その後の高校、大学といった歩み方にも大きく影響するからこそ、

「中学3年間」だけの問題ではない、クラブチームの選択です。

12歳の決断で、人生が少し変わるか、大きく変わるか、

大袈裟（おおげさ）に言えば、一度きりの人生を左右する、とても大事な決断だと思います。

しっかりと先を見据えて、後悔のない選択で夢や目標を追ってください。

どのような選択であっても、皆さんの今後に応援いたします。

ライオンズSC・OBの活躍

今を頑張り、先でこそ活躍しよう！

WE ARE LIONS FAMILY



当クラブがお勧めする **クラブ選びの重要ポイント**

たった一度の人生で、「育成年代」とされる重要な中学3年間でどのような環境で過ごすのか？
「プロの世界はこうだ」とか、大人の正論を押し付けられても面白くなく、目の前の競争だけしていても、結果、やらされているだけでは伸びない年代です。（心の豊かさを育んだり、考え方の成長が高いレベル到達に向けては必要不可欠です）
「プロといった夢や目標を持つ12歳の若き学生」として、**適切な人、適切な環境から学びを設けること**で、しっかりと内面から自身を成長させ、確実に能力を引き上げて次のステージに向かいましょう。
「どのクラブでも大丈夫」ではありません。サッカーはサッカーだけでは（最後は）成長できませんので、将来を見据えた「**適切なクラブ選び**」が重要です。未来は全く異なります。

【重要ポイント①～⑤】

- ① クラブとして受け入れる人数。学年で30-40名といった受け入れをしない。試合に出て経験する、重要。
- ② 大事な中学3年間で、どのような人間性の監督・コーチ（指導者）に教わり、過ごすのか、重要。
- ③ 中学3年間で終わりではなく、その先の進路の選択肢が高校（大学）までサポートされているか、重要。
- ④ 最も重要なポイントは、チームの所属リーグや成績以上に「自身が伸びるか？、伸びたのか？」、重要。
- ⑤ サッカーグラウンド保有の強みは、「安定した生活に大きく影響するため」、重要。

人数（1学年の人数）

2024年度、ライオンズSC新中学1年生にて25-27名のメンバーを迎え入れる準備を進めております。

（※今年度は自前サッカーグラウンドを構えたことにより27名の迎え入れを準備しています）

当クラブでは、学年で30～40名といった人数の受入はしておりません。

重要ポイント①人数

適切な人数（割合）による適度な競争と、試合に出場し、「経験すること」で成長する環境が中学生には必要

25名を目安としている点として、U-15公式大会（クラブユース選手権・高円宮杯）のメンバー登録できる人数が、ルールにおいて1クラブ最大25名以下であることも理由としては大きいと言えます。（2チーム登録での大会出場は認められておりません）

試合の結果も非常に重要ですが、それ以上に、「選手自身の経験・成長」が重要となりますので、チーム内の競争は当然のこと、

「適切な人数割合」で競争を盛り込みながら、試合に出場する機会を得て（与えて）、**「経験すること、させること」**で成長を促すべきと当クラブでは考え、我慢強く実践しております。（子供の成長には大人の我慢強さが必要です）

レギュラーメンバーだけでなく、選手各々が日々成長することをクラブとして求め続けており、その環境は大人が責任を持って敷く。

だからこそ、ライオンズSCではグッドプレイヤーが続々と誕生し、高校生年代、その先での目覚ましい活躍が現実にあります。

人数を集め過ぎた競争や、最優先が「勝利至上主義」ではなく、「13-15歳の育成年代」だからこそ、個々の育成に本気で挑戦しようと取り組んでいるクラブです。（**勝利至上主義の逆、「急がば回れ」を必要と考えて実践しておりますので、結果、個々が圧倒的に伸び、活躍します**）

どのような人間性の指導者に教わり、過ごすのか？

「どのような指導者と共に成長を追い、日々過ごすのか？」はとても重要と言えます。

家庭（家族）、指導者、仲間の影響を大きく受けて進む中学3年間となりますが、第三者から受ける教育では、学校の先生以上に、「クラブの指導者・コーチ」が最も近しく必要な存在となっている昨今、良くも悪くも、本人に大きな影響を与えるからです。サッカーの技能面だけでなく、「人としての成長」や、「社会での過ごし方」を学んだり、「夢や仲間の存在を深く考えること」等々、純粋でまっすぐな子供たちは、思想や人格形成に大きな影響を及ぼす13-15歳の多感な時期を迎えることから、その方向付けを担う指導者の役割は重要であり、「どのような指導者と共に歩むのか？」、同時に、「どのような考えのクラブ、どのような仲間と一緒に過ごすか？」、これら身を置く環境（の違い）は目の前の成長だけでなく、今後の人生にも大きな影響を与え、大きな分岐点にもなるはずです。

子供たちの未来に触れる重要な役割だからこそ、「サッカーを指導できるか？」だけでなく、子供たちの良きお手本となり、人としての指導、躰（しつけ）教育までを心に寄り添ってできるか？
そんな貴重な存在であり、豊かな心を持つ高いレベルの指導者たちが、当クラブには存在しています。

重要ポイント② 指導者の存在

どのような指導者と共に歩むのか？ 純粋な年代だからこそ、指導者の「人間性」が物凄く重要です。

実際にサッカーが楽しく感じなくなった、競争に漏れた等の理由で自信を失い、悩み、サッカーから離れてしまう中高生も少なくありません。自身が成長する為に、背中を押して、支えて、時に力強く引っ張って方向を示してくれる、そんな「寄り添って進んでくれる指導者が若い君たちだからこそ特に必要」との話です。誰もが高校でサッカーを続けたいと言えたり（意欲がないと言えない）、強豪校へ進学する（自信が持てないと進めない）など、中学3年間は、そんなに簡単に進む道ではありません。

その先の進路/高校進学・大学進学

重要ポイント③ 中学3年間で終わりではないからこそ、高校進路の選択肢や対応といった「出口」が手厚くサポートされているか？

ライオンズSCでは、スポーツ特待生、学業奨学生（学業優秀生）として、数多くの卒団生を輩出してきました。

現状では、メンバーのほぼ全員が学費免除等の優遇を選択肢として受け取るまでとなり、クラブとして手厚い送り出しをしています。

ライオンズSC卒団生の進路状況 【実績/過去数年間】

●県外

流通経済柏（千葉）、前橋育英（群馬）、静岡学園（静岡）
上田西（長野）、明秀日立・第一学院（茨城）、早稲田学院
駒沢大付属・東京実業・大森学園（東京）、香川西（香川）
帝京第五（愛媛）、ソルティーロユース（千葉）、他

●県内

日大藤沢、東海大相模、三浦学苑、湘南学院、湘南工科
湘南ベルマーレユース、YSCCユース他



基本：進路や学費免除といった選択肢の獲得は、基本的には自身で掴み取るものです
(プラスアルファをクラブにてサポートいたします)

ライオンズSCは帝京第五高校と業務提携

チャレンジする為の環境の構築に務めております



2023年度 全国高校サッカー選手権大会

愛媛県大会優勝・2大会連続、全国への出場を果たしました



帝京第五高校参考

- ・少数精鋭 (3学年50名)
- ・費用安価 (寮費食費込4.7万)
- ・大学進学 (100%可)

2023年度サッカー部卒業生
(16名) の進路

帝京大学8名/帝京科学大学1名/
神奈川大学2名/国士舘大学1名/
玉川大学1名/トレーナー専門1名/
家業就職2名、以上16名

目標を持って高校3年間を過ごす
自身の立ち位置を掴むことで充実
全国で旋風を巻き起こす
圧倒的な大学進学率
完成度の高い自信ある環境です

伸びる・伸ばす

中学1年生で到底勝てなかったチームに、3年間の成長力で立場逆転、勝利する！これが成長した姿の見せ所です。何度も、「個々の成長からチームの成長」を結果で証明しているクラブです。（個々の成長では負けません）試合結果だけでなく、「技術の向上」、「自主性、主体性」、「楽しみや真剣さ、表情・雰囲気」等々、クラブで過ごし、この成長をピッチ内外で表現する「選手たちの姿」がライオンズSCの全てです。是非ご確認ください。

重要ポイント④ 伸びる環境であるか？ 目先の試合結果以上に、間違いなく伸びるクラブを選ぶべき！
数多くのクラブを見てきた私ですので、このクラブは伸びる。自信を持って選手をお預かりしています。

● 学生としての指導から目を背けない

「サッカー選手として成功できるよう」、また、「人として社会で活躍できるように」との考えのもと、自身に甘え過ぎることのない3年間を過ごして貰うことで大きな成長を促します。活動は楽しく、時に厳しいが、学生としての本分から外すことなく育てます。

● メソッドによる指導

何に取り組み、どのように伸ばすのか、明確なトレーニング項目の設定があるクラブを選ぶべきです。（的確に伸ばせます）

● 楽しみと真剣さ

「高いレベルで活躍できるプレーヤー」を目指して、サッカーを楽しみ、成長を楽しみ、苦手なことと向き合う自身の努力を楽しみながら、次第に楽しみが「本物の真剣さ」に変わる為の指導とサポートをいたします。

サッカーグラウンド保有の強み

サッカーグラウンドを保有する点は、以下の利点を生み出します。

① 時間の有効活用

サッカーグラウンドを求めて市外県外への移動を重ねることが省けますので、時間の有効活用が可能です。

クラブチームの活動は、学校部活動とは異なり、土日グラウンドを常時確保できない問題が色濃くあり、今までの活動では、各学年、湘南や西湘地区、横浜や川崎地区、県外へとグラウンドを求めて移動を伴う活動が多く、移動時間だけで3-4時間を要して活動しておりました。（移動時間を含めると丸1日の活動になってしまう土日も多くあった）サッカーや勉強、その他時間に追われる中学生の忙しさや大変さには大きなハードルとなっていましたので、時間の有効活用は大きな利点です。

② 体力の有効活用

移動を伴う長時間の活動の積み重ねは、「時間の問題」だけでなく、「体力の問題」にも大きくつながります。

疲れすぎた毎日ではパフォーマンスもモチベーションも上がらず、心身の成長にも繋がりませんので、計算できる活動拠点があることは大きな利点です。

③ 金銭面、安全管理

クラブ費以上に家庭の大きな負担となるのは移動費です。土日で移動を繰り返していると簡単にクラブ費の金額を超えます。近くにグラウンドがあり、「常に試合活動できる点」は金銭面への好影響につながり、また、活動場所が絞られる点は、子供たちの安全管理や安心においても大きく影響すると考えております。



重要ポイント⑤

サッカーグラウンド保有の強みを活かして、「安定した生活」から楽しみと成長を最大化しよう！

クラブ代表者

【氏名】 臼杵 尊士 (44才)

株式会社横須賀フットサルパーク/ライオンズSC 代表

横須賀サッカー協会理事 3種クラブ委員長

帝京大学第五高校サッカー部 スカウト (2018年～)

盛岡大学附属高校サッカー部 スカウト (2021年～)

※その他、県内外の強豪校にも広がるネットワークを活用して中学生の進学をサポートしています

【経歴・指導歴】

● サッカー/フットサル22才～

横浜マリノスJY新子安 (現・F.マリノス新横浜) - 日大藤沢高 - 産業能率大学卒

PSTCロンドリーナ (現・湘南ベルマーレフットサルクラブ) - ライオンズSC

● 指導歴

日大藤沢高校 - ライオンズSC社会人フットサル - ライオンズSCスクール/JY/TOP

ライオンズSCとフットサルパークを起業

育成に定評ある組織、環境作りを目指して、志高い仲間たちと共に会社、チームを運営しています。



クラブSTAFF

小池 塁 (44才)

横浜マリノスJY新子安 - 湘南工科大付属高 - 神奈川大学

2023年ジュニアチーム指導担当

井浦 亮太 (42才)

横浜マリノスJY追浜 (衣笠中) - 逗葉高 - YMCAスポーツ専門学校

2023年度U-14指導担当

田村 暁洋 (44才)

横浜マリノスJY新子安 - 桐光学園高 ※U-15日本代表

2023年度U-13指導担当

外部キーパーコーチ、ライオンズSCジュニアユース出身の若いコーチたちや
経験豊富なスタッフも活躍中です

